



2020

## 日鶏協ニュース

令和2年5月

一般社団法人 日本養鶏協会

## INDEX

・新型コロナウイルス感染症の発生畜産農場における経営継続対策事業について .....	1
・第4期鶏卵生産者経営安定対策事業への新規「加入のご案内」について.....	3
・平成31年度成鶏処理流通円滑化推進事業鶏生体輸送容器開発事業 .....	4
・鶏卵公正取引協議会からのお知らせ .....	6
・協会活動報告 .....	7
・統計データ.....	8

## 新型コロナウイルス感染症の発生畜産農場における 経営継続対策事業について

新型コロナウイルス感染症が各地に広まり様々な影響が出る中で、鶏卵生産者の皆様におかれましては国の支援策にも注目されておられるかと思えます。

農林水産省のWEBサイト「新型コロナウイルス感染症の影響を受ける農林漁業者・食品関連事業者への支援策 ([https://www.maff.go.jp/j/saigai/n\\_coronavirus/support.html](https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/support.html))」をご覧ください。新型コロナウイルスの影響を受ける農林漁業者・食品関連事業者への支援策として、他省庁の支援策も含めて業種別、事業目的別等に、とても分かりやすく記載されています。

そうした一連の支援策の中で、特に鶏卵生産者の皆様に関係がある事業として既に要綱も制定された、「新型コロナウイルス感染症の発生畜産農場等における経営継続対策事業」をご紹介します。

この事業は全畜種対象で総額約8億円の農畜産業振興機構 (ALIC/<https://www.alic.go.jp/>) 事業です。農場の経営者等に新型コロナウイルス感染症が確認された場合 (濃厚接触者を含む)、経営者等が一定期間隔離されてしまいますが、そのために家畜の飼養管理が困難となり家畜の飼養ができなくなった場合を想定し、発生農場の事業継続のために、以下に要する経費を補助しようというもので国からの定額補助となります。

- ① 代替要員等の派遣支援
- ② 農場清浄化支援

事業対象者は、家きん経営災害緊急支援対策事業と同様に生産者集団等で、事業実施主体としては畜種ごとの生産者団体が予定されていて、養鶏の場合は当協会の予定です。

この事業は、BCP (事業継続計画) の考えを取り入れた時宜を得た取組だと考えられます。一方代替要員の派遣については、既に酪農ヘルパー制度のある酪農分野では要員手当ても比較的円滑かと予想されますが、その他の畜種では要員手当てが今後の検討課題になると思われるかもしれません。当該事業については、要領を制定した段階で詳細を当協会のWEBサイト (<https://www.jpa.or.jp/>) でお知らせします。



2020

# 日鶏協ニュース

令和2年5月

一般社団法人 日本養鶏協会

## 新型コロナウイルス感染症の発生畜産農場における経営継続対策事業

【令和2年度 ALIC 事業 814 百万円】

### <対策のポイント>

農場の経営者等に新型コロナウイルス感染症が確認された場合、経営者等が一定期間隔離され、家畜の飼養管理や搾乳等が困難となり、家畜が飼養できなくなるなどの恐れがあるため、**代替要員の派遣や家畜の公共牧場への避難等を支援**します。

### <政策目標>

新型コロナウイルス感染症が発生した場合においても、**家畜の飼養を続けることにより、畜産物生産を継続、安定的に国産畜産物を供給**

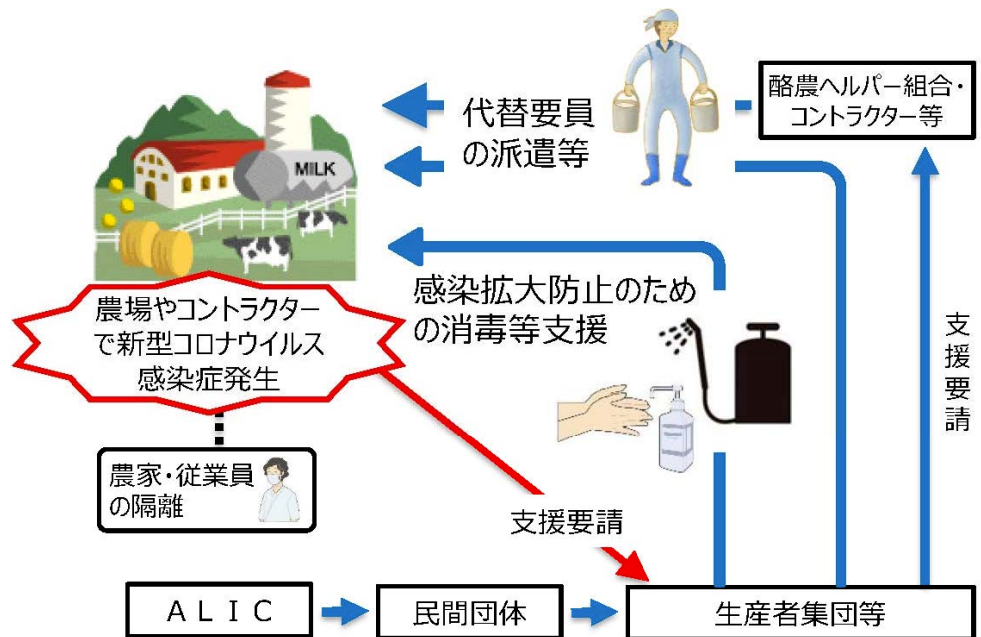
### <事業の内容>

1. 代替要員等の派遣に対する支援  
発生農場の事業継続のための代替要員（酪農ヘルパーを含む）などの派遣を支援します。
2. 家畜の公共牧場などへの緊急避難、委託管理などに対する支援  
発生農場の事業継続を図るため、その家畜を公共牧場疾うに緊急避難させるための経費を支援します。
3. 農場等の清浄化・感染拡大防止に向けた消毒等の経費に係る支援  
発生農場の清浄化や感染拡大防止のための消毒等に係る経費を支援します。
4. 出荷できない生乳に対する支援  
乳業工場の処理能力の低下等により出荷できなくなった生乳に対して支援します。

### <事業の流れ>



### <事業のイメージ>



### 【お問い合わせ先】

(乳用牛:1~4の事業)	生産局牛乳乳製品課	(03-3502-5988)
(肉用牛:1~3の事業)	生産局畜産企画課	(03-3502-0874)
(豚、家さん:1、3の事業)	生産局畜産振興課	(03-3591-3656)
(コントラクター:1、3の事業)	生産局飼料課	(03-3502-5993)



2020

# 日鶏協ニュース

令和2年5月  
一般社団法人 日本養鶏協会

いずれにしてもまずは新型コロナウイルス感染症に罹患しないことが優先事であり、鳥インフルエンザを無事に乗り切られた皆様ですから、是非この長期戦を呈した疫病にも打ち勝っていただき、皆様の地域・事業に平和と安寧が訪れますことを心から願っております。

## 農林漁業セーフティネット資金（新型コロナウイルス感染症）について

コロナで資金繰りに困っている農業者を対象に、緊急的に対応するために必要な長期かつ低利な資金です。

借入限度額は、年間経営費の12分の12又は粗収益の12分の12に相当する額のいずれか低い額（簿記記帳を行っている場合）（それ以外は1,200万円）という措置がとられています。以下のWEBサイトでご確認ください。

### ■ 農林漁業セーフティネット資金（新型コロナウイルス感染症）

[https://www.maff.go.jp/j/g\\_biki/yusi/06/1\\_0644.html](https://www.maff.go.jp/j/g_biki/yusi/06/1_0644.html)

### ■ 【令和2年度農林水産関係補正予算】農林漁業者への資金繰り対策（動画）

<https://www.youtube.com/watch?v=IIEPROQIYdQ>

### ■ 新型コロナウイルス感染者発生時の対応・業務継続に関するガイドライン（農林水産省）

[https://www.maff.go.jp/j/saigai/n\\_coronavirus/ncv\\_guideline.html](https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/ncv_guideline.html)

### ■ 畜産事業者新型コロナウイルス感染者が発生した時の対応及び事業継続に関する基本的なガイドライン（農林水産省）

[https://www.maff.go.jp/j/saigai/n\\_coronavirus/pdf/gl\\_tik.pdf](https://www.maff.go.jp/j/saigai/n_coronavirus/pdf/gl_tik.pdf)





2020

# 日鶏協ニュース

令和2年5月  
一般社団法人 日本養鶏協会

## 第4期鶏卵生産者経営安定対策事業への 新規「加入のご案内」について

令和2年度からの第4期鶏卵生産者経営安定対策事業の加入申込みを開始いたします。

第4期事業につきましては、

① 予算の基金化

② 成鶏更新・空舎延長事業の充実・強化

- ・10万羽未満生産者に対する奨励金単価の引き上げ
- ・新たな空舎期間延長オプション(90~120日未満)の追加
- ・1月の成鶏更新・空舎延長事業の発動



③ 鶏卵価格差補填事業の見直し

- ・10万羽基準を撤廃し、成鶏更新・空舎延長事業発動の場合でも、経営規模に拘わらず標準取引価格と補填基準価格の差額の9割を補填(上限あり。)
- ・生産者負担率の変更(国:生産者=1:3 ⇒ 国:生産者=1:7)

など事業の仕組みを大幅に見直しております。

本事業は鶏卵生産者の皆様の相互扶助のもとに経営安定と鶏卵の需給及び価格の安定を図るものであり、できる限り多くの鶏卵生産者の皆様にご加入して頂くことが事業の効果的な執行のために極めて重要であります。

このため、「加入のご案内」をご覧いただき、新規のご加入につきまして、ご検討をいただきたくお願い申し上げます。

新規にご加入の検討をいただける皆様には関係資料を郵送いたしますので、令和2年5月22日までに、「加入のご案内」の最後のページにご住所等をご記入のうえFAX等により当協会へお知らせ下さるようお願い申し上げます。

なお、令和元年度までの第3期事業加入生産者の皆様には、契約書類等関係資料を別途送付しております。

### 第4期鶏卵生産者経営安定対策事業加入のご案内

[https://www.jpa.or.jp/stability/pdf/r2\\_20200423.pdf](https://www.jpa.or.jp/stability/pdf/r2_20200423.pdf)

詳しくは下記事務局までお尋ねください。

一般社団法人 日本養鶏協会

Tel:03-3297-5515 Fax:03-3297-5519 E-mail:info@jpa.or.jp





2020

# 日鶏協ニュース

令和2年5月

一般社団法人 日本養鶏協会

## 平成31年度成鶏処理流通円滑化推進事業 鶏生体輸送容器開発事業

### AWに配慮した成鶏輸送容器改良案作成

成鶏処理場においては、中小事業者を中心とした施設の老朽化等による廃業に伴う、成鶏の輸送の長距離化に加え、鶏卵生産者の飼養規模の拡大により一度に処理する羽数が増大し、食鳥処理場内における生体保管が長時間化していることなどが問題となっています。今回、本事業においてAW（アニマルウェルフェア）に配慮した成鶏輸送容器の改良案を作成しました。

改良案作成にあたり、成鶏処理場の現地視察や輸送容器の通気性実験などを行い成鶏の安全性を考慮した上で輸送及び、待機時間に負担のかからない工夫を加えました。2社の容器企業に協力いただき計6種類が提案されました。また、この改良案を報告書として冊子にまとめました。

### 岐阜プラスチック工業(株)による改良案

アニマルウェルフェア対応 成鶏輸送容器【御提案書】

岐阜プラスチック工業株式会社 Confidential  
複写禁止

○コンテナでの段積み・輸送時の鶏糞・鶏卵による成鶏の汚染を低減構造の御提案。

<構成部品>

(本体・フタ組付け)

**特長① 鶏糞の落下を低減**

フタと容器のメッシュ方向が交差するクロス構造とすることで、フタと容器の開口面積を減らさず（衰弱防止）、段積み時の上段容器からの鶏糞の落下を低減し、汚染を抑制します。

本体 メッシュ方向：長側に平行 (段積み状態：斜視)

フタ メッシュ方向：短側に平行 (段積み状態：上面)

上段：本体  
下段：フタ

**クロス構造**

【同方向の場合】 【クロス構造の場合】

通し面積が約半減

本体とフタのメッシュを交差させることで穴の通し面積が減り、鶏糞の落下しにくい。

**特長② 通気性の確保（鶏糞の落下を低減）**

フタにポケット構造を設けて、段積み時のクロス構造による通気性の阻害を防止します。

ポケット構造 (ポケット部拡大)

段積み間に空間を設け、通気性の阻害を防止。また、鶏糞の容器への落下も低減。

**特長③ 鶏卵による汚染を低減**

本体の底面形状をドーム型にし、また外周にポケット構造を設けて、鶏卵が端部に転がりやすくし、踏みつぶしによる汚染を低減します。

ドーム構造・ポケット構造

ポケット 鶏卵 ポケット

ドーム

(本体上面)

(本体断面：短側)

(本体断面：長側)



2020

# 日鶏協ニュース

令和2年5月  
一般社団法人 日本養鶏協会

## 三甲(株)による改良案 (一部)

	A案 本体外周凹		B案
	①本体底面・フタ孔位置変更	②フタ網目サイズ小	本体に中トレイ設置
斜視			
フタ上面視			
本体内底面視			

なお、本事業委員長である田中智夫氏より下記のように講評を受け本年度事業は終了しました。

本事業の委員会メンバーである2つの輸送器メーカーが改良案を提示した。いずれの案も、現状の輸送器に比べて、液卵や排泄物の落下を軽減しつつ、通気性や洗浄性などにも配慮したものとなっており、工夫の跡が感じられる。ただ、単年度の事業では、時間的にも予算的にも、あくまでも改良案の提示にとどまり、試作品を作って実証試験を行うところまではできなかったのが残念である。今後、この案にさらに改良が加えられ、アニマルウェルフェアの考え方に配慮されたより良い輸送器が開発されて、広く使われるようになることを期待している。

(成鶏処理流通円滑化推進事業 委員長 田中 智夫 (麻布大学名誉教授))



2020

# 日鶏協ニュース

令和2年5月

一般社団法人 日本養鶏協会

## 鶏卵公正取引協議会からのお知らせ

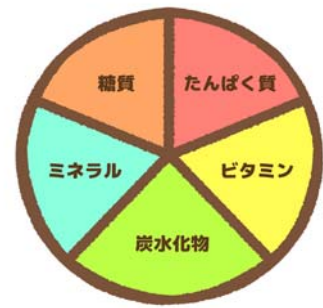
### 2019年における日本食品標準成分表 2015年度版(七訂)のデータ更新について (鶏卵の栄養成分に関する件)

文部科学省科学技術・学術審議会資源調査分科会は、2019年12月度に日本食品標準成分表2015年版(七訂)のうち、新規食品(81食品)を含む105食品の栄養成分値をデータ更新版として公表いたしました。(下記URLをご参照下さい。)

[https://www.mext.go.jp/a\\_menu/syokuhinseibun/1411589\\_00001.html](https://www.mext.go.jp/a_menu/syokuhinseibun/1411589_00001.html)

データ更新された105食品のうち、鶏卵(全卵・生、全卵・ゆで、卵黄・生、卵黄・ゆで、卵白・生、卵白・ゆで等)も含まれていることが明らかになりました。

鶏卵(全卵・生)で、今回の改定データと改定前のデータを比較し、数値が大きく変更になった栄養成分は次の表の通りです。その他の栄養成分につきましてはWEBサイト(鶏卵公正取引協議会からのお知らせ/[https://www.jpa.or.jp/keiran\\_root/pdf/20200428\\_01.pdf](https://www.jpa.or.jp/keiran_root/pdf/20200428_01.pdf))でご確認ください。



日本食品標準成分表(七訂)データ比較(全卵、生) ※一部抜粋

栄養成分	2019年 12月更新	従来	単位	増減	率
炭水化物	0.4	0.3	g	0.1	133.3%
銅	0.02	0.08	mg	-0.06	25.0%
マンガン	0.04	0.02	mg	0.02	200.0%
カロテンβ	2	3	μg	-1	66.7%
ビタミンD	5.2	1.8	μg	3.4	288.9%
ビタミンE	5.1	1.0	mg	4.1	510.0%

改定データではビタミンEが1.0mgから5.1mgへ、ビタミンDが1.8μgから5.2μgへと大幅に増加しています。

日本食品標準成分表の成分値は、栄養を強化した場合に、通常の鶏卵の成分値として、栄養価を比較して掲載することになっており(鶏卵公正取引規約施行規則第1条)、このデータが変わってしまうと、現在表示してあるデータ等の数字が正確ではないということになり



2020

# 日鶏協ニュース

令和2年5月

一般社団法人 日本養鶏協会

ます。

鶏卵公正取引協議会事務局と文部科学省担当部署とで内容確認を進めていった結果、今回のデータ更新の試料として使用された鶏卵に、栄養強化卵が含まれていることが判明いたしました。その結果を踏まえ、今回のデータ更新の報告の中では、

- ① 改定データは残すものの、備考欄に「試料：通常の鶏卵（栄養成分が増減されていないもの）、栄養強化卵。」と記載する。
- ② 本文に留意点として「また、今回の調査試料には特殊な栄養強化飼料を給与した鶏卵を含むため、トコフェロールα等の値は通常卵（飼養標準等に沿って必要栄養量を給与した採卵鶏の卵）より大きい。特殊な飼料を給与していない通常の鶏卵の情報は、本報告で更新される前の成分表 2015 年版（七訂）を参照のこと。」と記載する。

ことになりました。

これによって、今回のデータ更新とは関係なく、通常の鶏卵の成分値は、従来の日本食品標準分析表 2015 年度版（七訂）の成分値であることが明確になりました。

今後の留意点：

2020 年には 2020 年版（八訂）が公表される予定となっています。鶏卵のデータが更新されるかどうかは不明ですが、改定の動向に充分留意して、表示ラベルの切替等の対応準備をお願い申し上げます。（ラベルの表示が日本食品標準成分表（七訂）となっている場合は、七訂からデータを引用していることが明らかで、間違いではありません。一方、鶏卵公正競争規約では、規定上「最新版の成分表を使用する」こととなっていますので、速やかに八訂対応することが望ましいと考えます。）

## 協会活動報告

鶏卵生産者経営安定対策事業 (<http://www.jpa.or.jp/stability/>)

- ① 価格差補填事業の事業参加者との契約数量（トン/月当たり）
- ② 令和2年度4月の標準取引価格 198.93 円/kg

平成 28 年度	164,846
平成 29 年度	162,353
平成 30 年度	169,171
令和元年度	167,141

令和2年度補填基準価格 183 円/kg  
 令和2年度安定基準価格 161 円/kg





2020

# 日鶏協ニュース

令和2年5月  
一般社団法人 日本養鶏協会

## 統計データ

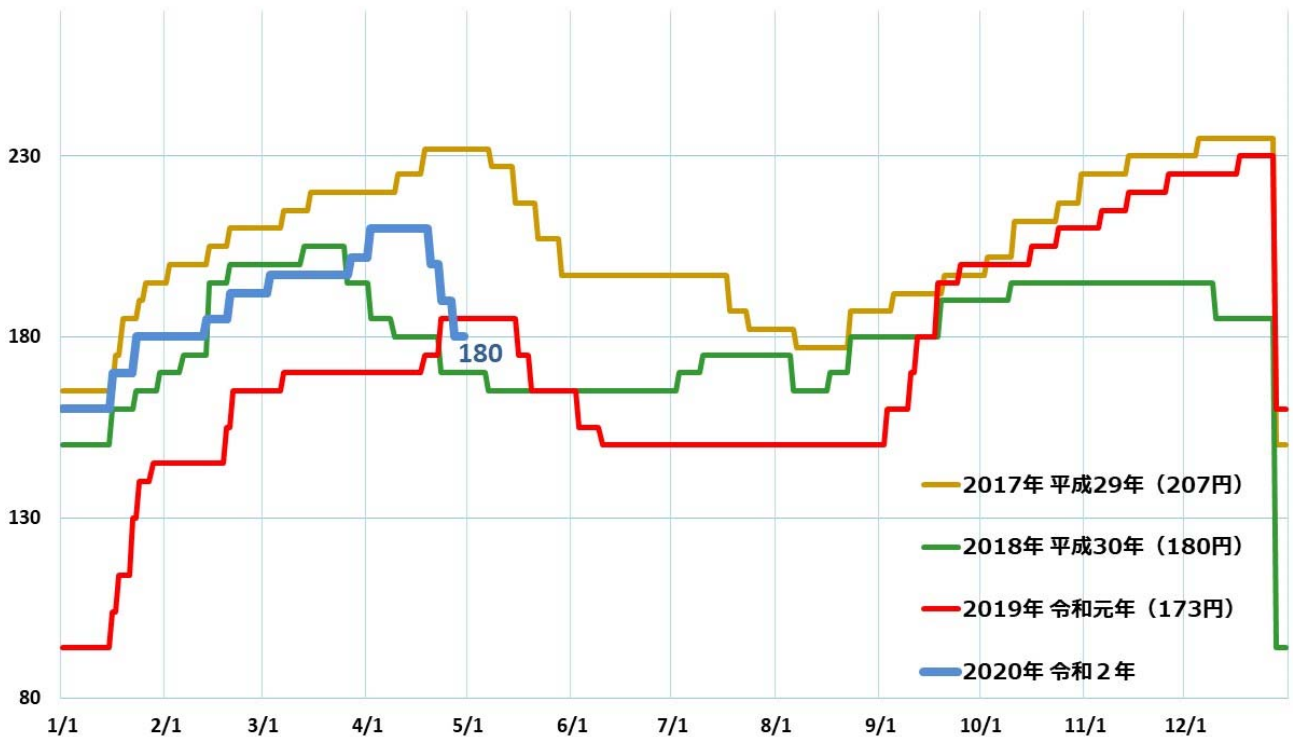
鶏卵相場動向 — 過去10年間の4月相場 東京全農Mサイズ 円/kg

	平均値	高値	安値
平成23年	245	278	234
平成24年	182	208	169
平成25年	172	198	164
平成26年	223	248	214
平成27年	227	253	214
平成28年	215	233	209
平成29年	227	250	214
平成30年	179	203	164
令和元年	174	203	164
令和2年	202	230	174
平均値	205	230	192

令和2年4月の鶏卵相場（東京全農Mサイズ）は、高値(230円)は平均値に、安値(174円)は引き続き平均値192円を18円下回っています。



鶏卵相場推移 2017年～2020年 東京全農Mサイズ 円/kg



4月の相場は月初の202円から月末180円で終わっています。新型コロナウイルス感染症が拡大しており、今後の動向につきなおも注視が必要です。



2020

# 日鶏協ニュース

令和2年5月  
一般社団法人 日本養鶏協会

## 鶏卵関係主要計数 —— 令和2年2月までの年間の主要計数推移

注：雛餌付羽数は全国推定値

	雛餌付羽数(出荷)		配合飼料出荷量		家計消費量		鶏卵相場	
			成 鶏 用		一人当たり		東京全農M	
	数量(千羽)	前年比	数量(千ト)	前年比	数量(グラム)	前年比	前年	本年
3月	8,996	90.5%	494	94.5%	914	102.0%	201	169
4月	9,227	97.1%	503	105.3%	900	101.7%	179	174
元年 5月	9,363	93.3%	498	99.2%	901	93.4%	165	173
6月	8,292	89.5%	457	94.8%	919	101.2%	165	151
7月	9,843	99.0%	491	110.0%	892	105.7%	173	150
8月	7,964	91.3%	456	93.4%	870	101.9%	172	150
9月	8,956	100.7%	449	100.3%	866	98.1%	184	179
10月	8,966	89.9%	496	98.8%	928	101.6%	194	204
11月	9,593	99.0%	489	98.1%	880	97.7%	195	219
12月	8,868	101.8%	526	99.3%	917	98.2%	188	227
2年 1月	10,152	104.6%	482	99.5%	827	93.9%	121	170
2月	8,509	102.6%	473	102.0%	926	112.0%	152	185
1年間合計 平均(%)	100,220	96.1%	5,814	99.6%	10,740	100.6%	174(平均)	179(平均)

- ・ 雛餌付羽数は、8,509千羽（前年比102.6%）と前年比2.6%増となりました。
- ・ 配合飼料出荷量は、473千トン（前年比102.0%）と前年比2.0%増です。
- ・ 鶏卵の家計消費量は、926グラム（前年比112.0%）と前年比12.0%増となっています。
- ・ 鶏卵相場は、前年平均の33円高を示しました。



日鶏協ニュース 発行者：一般社団法人 日本養鶏協会

〒104-0033 東京都中央区新川二丁目6番16号馬事畜産会館内（5階）

TEL：(03)3297-5515 FAX：(03)3297-5519 発行日：2020年5月8日

編集・発行責任者：浅木 仁志(info@jpa.or.jp)